

落合支部だより

落合支部のエリア 真亀・落合全域・落合南2～5丁目

支部長 千葉 和子
健康まちづくりセンター 栗栖
☎ 082-879-8124
FAX 082-879-8182

暦の上ではとっくに秋ですが、残暑は厳しく蝉も最後のあがきのように朝から賑やかに鳴いています。コロナもここにきて収まるどころか、ますます増えてきているようで、気が抜けません。

ウクライナではロシアの攻撃により街や多くの人が犠牲になっていて、心が痛みます。少しでも早く終結して平和な世の中になるようにと願わずにはいられません。そんな事を思う毎日です。



2022年水爆禁止世界大会に参加して

真亀 M・N (84)

コロナ感染で発言はオンラインが主でしたが印象に残ったのは、オーストラリアのティルマン・カナさん（核兵器廃絶国際キャンペーン）です。総選挙で政権交代、条約支持の労働党オーストラリアが条約に参加する現実的な見通しが生まれていると発言がありました。

日本共産党の緒方副委員長（原水爆禁止2020世界大会共同議長）は「我われは最後の国が核兵器禁止条約に参加して、最後の核弾頭が解体され地球上から核兵器が廃絶されるまで休むことはない。広島からニューヨーク・ウクライナに向け大会の声をつよく発信していきましょう」と発言しました。

私も被爆者です。写真の竹本秀雄さんのように私たちは当時のことを決して忘れることはありません。私も80才を超え若い時のように動きは出来ませんが何とかがんばって行きたいと気持ちを新たにしました。



「あの子は、77年前の私です。生きとりました」原爆が落とされた直後の広島を記録したフィルム。そこに兄に背負われ、頭から左ほおにかけて包帯を巻いた3歳の子が写っていました。▼今年80歳になる竹本秀雄さんです。あの日、爆心地から1kmの自宅で被爆。家の下敷きになっていたところを兄に助けられ病院での治療の行き帰りに撮られたものを撮られたようです。

虹のひろばに参加して

落合 K・T

アステールプラザからの中継でオンラインでの参加。北海道から沖縄、アメリカ・NYからの生配信もありました。クラリネット演奏、虹のコーラス、被爆者の方の話、安田大学・高校生の書、基町高校の被爆者の方の聴き取りから描いた絵などに感動する時間を過ごしました。

若い方があちこちで平和の取り組みの活躍している姿に、勇気をもらいます。私自身たいしたことは出来ませんが、世界中の人々が笑顔で暮らせる世の中になるよう勉強したいと思います。



今回は平和関連行事に参加した方の声を載せました。

医療生協の活動をしていることで、多くのことを知るチャンスに出会うことができるなあと感じています。

みなさんも一緒に学び、行動しませんか。